

⑪卵管内移植(ZIFT、GIFT)

GIFT (gamete intrafallopian transfer) ZIFT (zygote intrafallopian transfer)

GIFT、ZIFT とは卵管内移植のことです。違いは GIFT が Gamete である卵子、精子を卵管内に移植すること。ZIFT は Zygote である受精卵を卵管内に移植することです。精子が正常であれば GIFT を行えます。精子が少ない場合は顕微受精後に ZIFT を行う事になります。

現在胚移植はほぼ全例子宮内に移植しています。これはどこの病院でもどこの国でも同じです。

現在卵管内移植が行われていない理由として

- ①全身麻酔が必要
- ②腹腔鏡の技術が必要
- ③お腹に数ミリの傷が残る
- ④子宮内移植でも妊娠する
- ⑤行える施設が限られている

つまり医療サイドと患者サイドの都合で子宮内移植を行っている事になります。

それでは実際に子宮内移植と卵管内移植のどちらが胚にとっては好ましいのでしょうか？どちらがより生理的なのでしょうか？本来胚は卵管内で分割して胚盤胞になり子宮内で着床します。そう考えると子宮内移植よりも卵管内移植のほうが「より自然に近い」ので好ましいという事になります。

しかも精液所見が問題なければ顕微を行う ZIFT よりも GIFT の方がさらに自然に近いので好ましいと言えます。しかし普通は子宮内移植でも問題なく妊娠するため、あえて無理をして GIFT、ZIFT を行う必要はありません。そういう中、行った方が良いと思われるケースを上げます。

- ①良好胚を複数回移植するが妊娠しないケース

(子宮内移植が適していない可能性があります。卵管内移植を試してみる価値があります。)

- ②体外培養で良好胚が得られないケース

(体外培養が適していない可能性があります。そのため早い段階で卵管に移植する事で改善できる可能性があります)

GIFT、ZIFT のメリット

腹腔鏡手術のため卵巣、卵管周囲癒着があれば癒着剥離も同時に出来ます。そのため GIFT、ZIFT で妊娠しなかったとしてもその後タイミングや人工授精で妊娠する可能性がでできます。

ZIFT、GIFT が行える症例

卵管因子が無い事です。卵管采からカテーテルを挿入できる事が必須条件となります。卵管造影を事前に行い通過性を確認しておくことが必須と言えます。もし癒着が疑われる場合には事前に腹腔鏡検査を行い癒着剥離や内膜症の治療も行っておく方が良いと言えます。

ZIFT、GIFT の際の卵巣刺激について

OHSS になると腹腔鏡下に卵管内に移植する事が少し困難になるため、マイルドな刺激で行う方がベターと言えます。

ZIFT、GIFT どちらが好ましいか？

ZIFT が第一選択となります。受精を確認できるためより好ましいと言えます。GIFT は男性因子が無い場合や ZIFT 不成功例が対象になります。

ZIFT、GIFT の欠点

GIFT は卵子と精子を卵管内に入れるため受精したかどうか確実にはわかりません。また受精が確認された ZIFT だとしても 1 日目の胚のため発生をほとんど見ていないため、妊娠率を高めるために移植数は複数個行います。そのため多胎妊娠のリスクが上昇します。